

科目名	保健統計学		科目ナンバリング	N-FN HS 1-15. H N	単位数	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期	
			科目コード	N20016	時間	30時間					
区分	看護基礎科目	必修	担当者名	三浦 雅史				授業 形態	講義	単独	
	アクティブラーニング	無									
授業 の 概要 等	〔授業の主旨〕 公衆衛生看護活動の重要な学問として、人間集団の中で起こりうる集団内の健康問題の発見と、調査の概要、調査の設計と分析などについて学ぶ。インターネットによる検索方法、フィールド・リサーチに必要な統計処理の基礎的能力を修得する。										
	〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2,3に関連し、カリキュラムポリシー2-1に関連している。										
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団的なものの見方ができる。 ・ 調査について理解できる。 ・ 統計表を理解することができる。 ・ 基礎的な統計処理を行うことができる。 ・ 将来予測ができる。 										
	授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容					備 考		
第1回	保健統計学とは			保健に関する統計は誰が収集し誰が活用するかについて学習する。							
第2回	統計指標の見方			統計指標の対象、地域、時代について学習する。							
第3回	人口静態統計			人口静態統計の用語についての理解を深める。							
第4回	人口動態統計			人口動態統計について、出生、死亡、自然増、社会増について理解する。							
第5回	調査			法律に基づいて実施されている調査の種類、方法、対象者について学習する。							
第6回	統計分類			死因分類、疾病分類について学習する。							
第7回	保健指標（1）			死亡率について学習する。							
第8回	保健指標（2）			割合と比について学習する。							
第9回	傷病量の表現			有病率と罹患率について学習する。							
第10回	指標の標準化			標準化の必要性と直接法、間接法について学習する。							
第11回	生命表			現状生命表についての考え方、方法について学習する。							
第12回	年次推移の観察			疾病の年次推移について学習し、原因を探求する。							
第13回	季節変動の観察			感染症の季節変動について学習する。							
第14回	将来予測			人口問題、環境問題について将来予測を実施する。							
第15回	保健統計から見えてくること			将来を見据えた早急な対策について学習する。							
評価 方法 及び 評価 基準	講義の参加度、レポート、試験の加算方式 講義の参加度（20%）、レポート（30%）、試験（50%）										
課題 等	レポート内容、期日等については講義時に説明する。										
事前 事後 学修	事前学習として合計22.5時間以上を目安とする。										
教材 教科書 参考書	教科書：国民衛生の動向 2023/2024 Vol. 70 No. 9 厚生労働統計協会 ISSN 03854-08（「厚生指標」8月増刊）										
留意 点	「統計学の基礎（2年前期）」をしっかりと復習して下さい。										